

未来 ネットワーク 通信

2019.2



2019年1月20日・事務所開き 湊町事務所

2019年1月20日 選対発会式

於：サンプラザ 司会 鈴木 剛

1. 開 会 臼井正人 会長代行
2. 総連合会会長挨拶
3. 選対役員の選出、承認、委嘱状交付
4. 選対幹部紹介・挨拶
事務長 高田良久
本部長 古澤悦夫
幹事長 小池雅弘
5. 来賓挨拶 小山市議会議長 小川 亘 様
支援市議会議員代表 中島克訓 様
6. 来賓紹介 高橋克法 参議院議員秘書 様
支援市議会議員 様
7. 事務局からのお願い 大谷好一 事務局長

・組織拡大について

リーフレット配布回収 2月強化月間

・ミニ懇談会について

イベント・各種団体集会の情報提供

・連座制について

・2月11日新春の集いの案内

8. ひがの義幸挨拶および謝辞
9. がんばろう三唱 平野和正 日向会会長
10. 閉 会 関根茂祠 選対本部長代行



栃木県の発展を誓い合い、知事と笑顔でツーショット!!

ひがの義幸選挙対策本部発会式・事務所開き挙行政

新しい年、さあ始動!

平成三十一年一月二十日（日曜日）、午前十時から、湊町の新事務所まで太平山神社を招請して事務所開きが厳かに執り行われ、同十一時三十分から、サンプラザにおいて、ひがの義幸選挙対策本部発会式が開催された。各地区役員、総勢二百名ほどが集まり、小川亘小山市議会議長、中島克訓支援市議会議員代表より、力強いご挨拶を頂戴して、来たるべき厳しい戦いに向けての決意を新たにしました。



委嘱状交付



ひがの義幸選挙対策本部発会式 サンプラザ

全ては子どもたちの
笑顔のために

いつまでも、この街で暮らしたい

政治信条

将来の「とちぎ」に夢を馳せ、新しい時代に残さなければならないもの、創り出さなければならないものを、しっかりと自分自身の目で見、耳で聞き、肌と心で感じながら時をつなぐ作業の一翼を市民の皆さんと一緒に担っていきたいと考えます。

PROMISE 1

「子ども」
を守る

子育て家庭の多様なニーズに対応することが出来るよう、子育て支援施策の充実や小中高一貫教育の推進、それを支える教師の指導力を向上させる等、夢をつむぐ子ども達の未来と笑顔を守ります。

PROMISE 2

「しごと」
を守る

新設する都賀西方スマートICを含めた4つの窓口をもつ地の利を活かし、IC周辺の活性化、先端ものづくり産業や研究機関等を誘致し、雇用と経済を守ります。また本県農業をリードする園芸生産の支援拡大、水田、畜産経営の大規模化を促進し農業を守ります。

PROMISE 3

「いのち」
を守る

頻発する災害に対応するべく、早急に危険箇所を調査し、減災防災対策を進め、災害に強いインフラ整備と官民協働による被災者支援対策により、不測の事態に備え県民の命と財産を守ります。

PROMISE 4

「魅力」
を守る

新たな観光資源の発掘や、ふる里に残る観光資源・地域資源を磨きつつ、今までにない切り口で強みを引き出し、戦略的な観光ネットワーク作りと誘客活動により、地域の活力と魅力を守ります。

PROMISE 5

「くらし」
を守る

とちぎメディカルセンターの充実とあわせ、地域医療を支える医師、看護師、介護職の確保を図り、医療・福祉・看護・介護の連携により子どもや高齢者、障がい者の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていける社会保障制度を守ります

とちぎを守る。
命を守る。



いざいざ！とちぎの政界刷新へ

二〇一八年十一月十八日
本部役員会発言者をもとに

●藤岡 会長 関根茂嗣

藤岡町は四地区が一緒になった。その地域に七〜八名ずつの常任幹事がある。「楽観しない」との共通認識で活動。日向野県議本人、野田尚吾顧問を交えて活動計画を打ち合わせ、企業回りなどをしていく。

●大平 会長 柴田保男

市長選後に、「県議会議員選挙は別だ！」という事で、大平地区後援会を立ち上げることができた。今後の大平地区をどうしたらよいか、まじめに、丁寧に説明して、同志を募っていく覚悟も出来た。八月四日に設立総会を開催、四十数名の役員でスタート。役員一人あたり五名の新規会員獲得を目標に活動し、二一七名の会員を確保。

●岩舟 会長 浅野成夫

十月に従来の日向野後援会を解散。組織再編中。小野寺、静和、岩舟地区に分け、十二月リニューアル発会。

●第二地区 会長 黒宮淳元

旭町一・二・三、室町、倭町市長選の混乱を乗り越え、県議選は日向野一本を確認。厳しい状況もあるが、自治会全体で応援できるようにしたい。

●第四地区 会長 白井義雄

坂東市議の地元。二〇一八年九月二日役員会。逝去役員がおられたことから、役員総入替、四十名の新たなスタッフで、十二月九日に新役員会開催。会員拡大に全精力。

●第七地区 会長 大豆生田昇治

八町内ある。

●国府地区 会長 篠崎孝

組織の立て直しと会員獲得に全力投球。

●西方地区 会長 古澤悦夫

市長選後、多く役員が西方地区後援会から離れたが、新たな支持者を募り組織づくりを始めている。再構築中。

●皆川地区 会長 山田茂男

地区内すべてが一丸となって支援体制を整える。

●都賀地区 中島克訓市議

一人一人、一票一票草の根運動で組織の拡大を図る。

●みゆき会 会長 藤野子工

トップ当選めざして盛り上げている。

●日向会 会長 平野和正

メンバーの入れ替えあり。新メンバー加入。

●支援市議会議員の会（敬称略）代表 永田武志

西方・針谷正夫 都賀・中島克訓 大平・永田武志 藤岡・福富善明・梅澤米満 岩舟・浅野貴之 栃木・坂東一敏・大谷好一 公明党・入野登志子・古沢ちい子・小久保かおる



この子らの未来のために・・・

2019年 スケジュール

- 2月11日 新春の集い
- 3月29日 告示・出陣式（湊町事務所）
- 3月31日 日向野義幸個人演説会
- 4月7日 投票日

町進記

護摩の火



ご一統様お揃いで、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。関東地方は今年も穏やかな新春でした。我が家の元旦は、揃って菩提寺の大護摩供に参ります。パチパチと燃え盛る炎、流れるお経に、不確かなこれからを守り支えてくれる力のようなものを感じる吉例行事です。

老親は既になく、いつしか自分が年寄りになってしまいました。皆様、お正月はどんなテレビで楽しめましたか。私は、一月五日のNHKBSプレミアム『大江戸 奇跡のロスト・シティー 二六五年の物語』を印象深く見ました。

1 大火（二六六六年）後のロンドンには、人口の伸びが鈍化したのに対し、明暦大火（一六五七年）後の江戸では人口が急増した（ドキュメンタリーとドラマ）

2 大名バブルがはじけた後（一七〇〇年頃？）、今に続く鯉節屋の「にんべん」は、大口相手の「節季払い」、掛売りをやめ、小口の町人相手に、店頭で商品と引き換えに代金をもらう「現金掛け値なし」で台頭した（ドラマ仕立て）

3 江戸時代のわが国の経済成長は、同時代のヨーロッパ諸国より高かった。識字率も。

電気も鉄道もない（水道はあった）、不便で不自由な生活をおくっていたと思われがちな江戸時代ですが、どうやらそうでもないようです。

便利も自由も極まった感の現代、私たちはなお、江戸時代の人々同様、紀元前のインドに遡ると言われる護摩の火に、新しい年の安寧を祈っております。

二〇一九年は己亥（つちのと・い）。『己』は、植物が充分生長して形が整然としている状態を指し、『亥』は、植物の生命力がその内に閉じ込められている状態を示すそうです。ここから己亥の年は、「今現在の状況を維持し、来るべき時に向けて準備を整えている状態」とか。

日向野義幸が県会議員である状態を維持し、輝かしい栃木の未来に向けて、さあ皆さん、ご一緒に準備いたしましょう。

（申丸）

未来ネットワーク通信 2019年2月号

ひがの義幸 県政だより

編集・発行 ひがの義幸後援会総連合会
発行日 平成31年(2019)2月11日
編集発行責任者 高田良久
事務局 〒328-0075 栃木県栃木市箱森町7-9
TEL 0282-23-8855 FAX 0282-23-8856